

平成 30年 5月 26日

第104回 日本消化器病学会総会に参加して（感想文）

支部名 東海支部 勤務所属先 トヨタ記念病院 消化器科

氏名 高橋 秀和

1、総会に参加して思ったことをお書き下さい。

第104回総会キャリア支援企画若手優秀演題カンファレンスに参加させていただきました。事前の打ち合わせでは、様々な地域の同世代医師と症例を見つめなおすことでさらに症例の理解を深めることができたと思います。発表当日は司会やフロアの先生方からもご質問いただき、ディスカッションすることで今後の医療にどう活かしていくのか共有することができました。私のチームはペラグラの症例であり、教科書的には消化器内科疾患というよりは神経内科疾患といえるかもしれません。しかしアルコール多飲者によく発症するという背景から、実臨床では消化器内科医がはじめに診察するケースも多いのではないかと考えます。適切な診断・治療がなされれば治癒可能な疾患であり、ある程度の知識は持つておく必要があります。アルコール離脱症状や肝性脳症などと誤診してしまうかもしれないという落とし穴もあります。この症例を深め合い、ディスカッションして共有できたことは非常に意味があったのではないかと思います。また他地域の消化器病診療に携わる同世代の仲間ができたことは、貴重なことですし、今後の診療において非常に糧になることだと確信しております。論文や学会発表などで再開し、刺激し合えるような仲になれたらと思いますし、困った症例に遭遇したときに別のやり方や切り口でアドバイスし合えるようになりたいと思います。それぞれが研鑽を積んだ後に、またどこかでディスカッションができればと思います。大変貴重な経験をさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

2、ハンズオンセミナーに参加された方は感想をお書き下さい。

私は最近胃のESDをやり始めたところであり、今回ESDハンズオンセミナーできめ細かい指導を受けながら実際に内視鏡操作ができてとても勉強になりました。当院ではプレセデックス鎮静を採用しており、患者の意識がある中で行うことが多いためあからさまな指導しながらの処置ははばかれる傾向があります。今回のようにリアルタイムで教えていただけたのは非常に有意義でした。初学者のため先端系ナイフは使用せずに行うようにしておりますが、今回それに挑戦ができたのも個人的には嬉しいことでした。交代して練習していく中で穿孔を起こした例があり、本番では呼吸性変動や蠕動も加わることを考慮するとESDという手技の難しさや奥深さを感じました。また見学だけさせていただきたく、DBEハンズオンセミナーにも伺ったところ、ご厚意で特別に参加させていただくことができ誠にありがとうございました。DBEは症例がそこまで多いわけではないので貴重な体験でした。実際に仕組みを確認しながら操作することで、理解を深めることができました。固定のない小腸で内視鏡を進めるためのアイディアの素晴らしさには感動しました。

3、その他、今後の抱負や要望がありましたらご記入下さい。

今回の学会でカンファレンスやハンズオンセミナーに参加させていただき、症例を深めて議論することのおもしろさや手技を習得する楽しさを再認識し、消化器内科がますます好きになりました。今後は学会発表や論文作成を積極的に行いたいと思いますし、ESD・DBEなど様々な内視鏡処置を習得したいと考えております。このように充実した時間を過ごせたのはたくさんの先生方に支えていただいたお陰であり、私は今年で6年目になりますが、今後はできる範囲で後輩の指導も行い、進路を考えている学生や研修医には消化器内科の魅力を伝えられたらと思います。若手優秀演題カンファレンスやハンズオンセミナーが今後も続いて欲しいと強く願います。